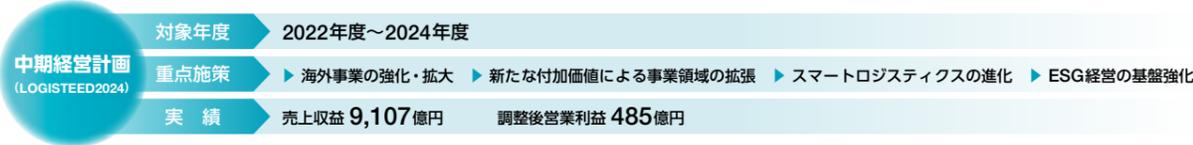
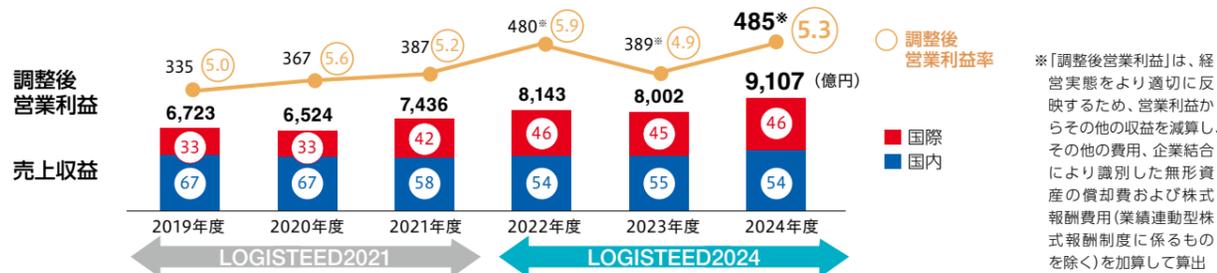


前中期経営計画「LOGISTEED2024」の振り返り

ロジスティードグループは、中期経営計画「LOGISTEED2024」の推進により、「グローバルサプライチェーンにおいて最も選ばれるソリューションプロバイダ」をめざし、さまざまな「協創」を通じた課題の解決と「価値」の創出に取り組んできました。その結果、売上収益において3か年で22%の成長を実現し、2024年度は売上収益、営業利益ともに過去最高を達成しました。

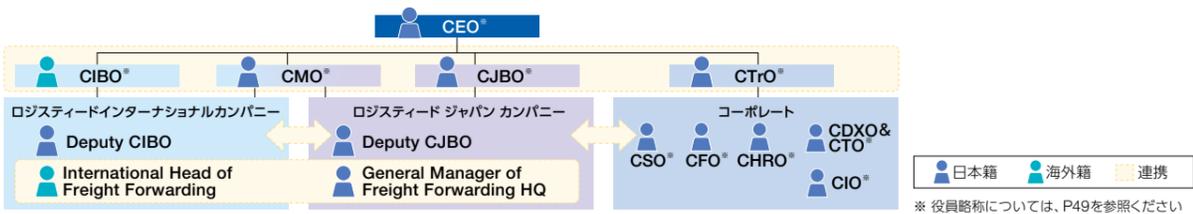


業績の推移



新体制への移行

国内・海外事業部門の緊密な連携による国を超えたシームレスなお客様への価値提供に向け、当社は2024年4月よりグローバル事業の強化・拡大を牽引するロジスティード国際カンパニーと国内事業の持続的な成長を牽引するロジスティードジャパンカンパニー、国内およびグローバル事業共通の強靱な基盤を構築するコーポレートからなる組織へ体制を変更しました。各組織を統括するCxOが緊密に連携することでグループ全社の連携をより高め、個社の強みをグローバルでのさらなるシナジー創出に活かす取り組みを進めています。



重点施策の実施状況

「LOGISTEED2024」で掲げた「事業の盤石化とグローバル展開」の実現に向け、当社グループでは以下のような施策の実行により、各地域での経営の機動性向上およびグローバルでのグループ全体のシナジー創出に取り組みました。

構造改革の実行

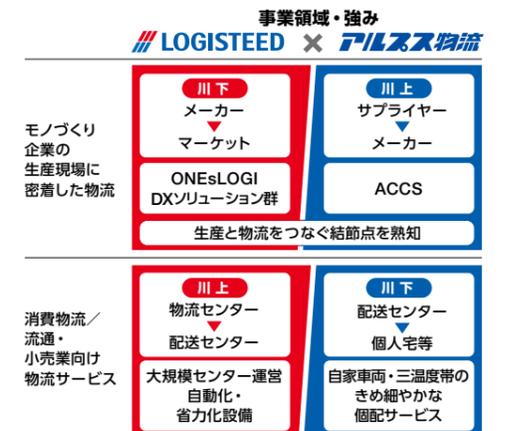
- 国内・海外事業のさらなる拡大に向けた経営体制の構築
 - ・国際・国内・海外事業の連携による組織の機動性向上(2024年4月)
- 資産流動化の推進
 - ・国内34の物流センター譲渡による経営の機動性および資本効率の向上(2024年3月)
- 国内グループ会社の統合
 - ・東日本地域のグループ会社の統合による組織の最適化およびガバナンスの強化(2023年10月)
- 100日プランの実施
 - ・中期経営計画達成に向けた各課題への対応プロジェクトの組成、CTrO統括のもとでの施策の推進(2023年4月～)

1 海外事業の強化・拡大

- 積極的なM&Aおよびシナジーの創出による海外市場の強化・拡大
 - ・Van den Bos & van Daalen Materieel社のグループ化による欧州域内低温混載輸送事業への参入(2023年8月)
 - ・Cyber Freight International Holding社のグループ化によるグローバルでの医薬品事業拡大(2022年11月)
- 高機能拠点の拡充による成長市場の取り込み
 - ・タイ首都圏における複数温度帯対応複合機能型物流センター開設によるコールドチェーン物流の強化(2025年1月)
 - ・インドにおける4大都市多目的物流センター構築計画の推進(ムンバイ:2024年2月、チェンナイ:2022年10月)

2 新たな付加価値による事業領域の拡張

- M&Aを活用したサプライチェーン(SC)全領域でのサービスの高付加価値化
 - ・アルプス物流のグループ化による電子部品物流および調達物流領域の強化(2024年10月)
- DXによる可視化、最適化、高度化を通じたSCの課題解決
 - ・倉庫運営の効率化と精度向上を実現する倉庫運営3Dシミュレーションサービスの提供開始(2025年3月)
 - ・SCDOSの機能拡充による提供価値の向上
 - 物流センターの在庫適正化を支援するSCDOS協調型在庫コントロール支援サービスの実装(2023年7月)
 - CO₂排出量可視化ソリューションの第三者認証機関による適合性評価結果受領(2022年8月)



アルプス物流グループ化による物流サービス・ネットワークの強化

3 スマートロジスティクスの進化

- 自動化・省力化、DX、標準化の促進による倉庫事業の強靱化
 - ・自社開発の自律移動型協働ロボット「AutonMate」の物流センターへの導入(2024年9月)
 - ・自動化・省力化設備の導入による414名分の省人化効果創出(2024年度実績)
- 危険物倉庫やGDP準拠倉庫等の倉庫機能強化・充実化
 - ・危険物倉庫新設によるバッテリー等の拡大する危険物物流需要の取り込み
 - 京都・亀岡(2025年1月)、千葉・佐倉(2024年1月)、滋賀・大津(2022年1月)
 - ・GDPに準拠し危険物倉庫も備えた関西第三メディカル物流センター開設による高度な医薬品物流への対応(2024年12月)



自律移動型協働ロボット「AutonMate」

4 ESG経営の基盤強化

- 災害対策およびリスクマネジメントの遂行
 - ・安全・品質・生産性・防火・防犯の見える化と集中管理を行う安全品質集中管理センターの稼働(2023年1月)
- 脱炭素活動の加速
 - ・SBT認定取得に向けたコミットメントレターの提出(2025年3月)

LOGISTEED2024の成果

- 構造改革の実施によるグローバル物流企業としての経営基盤強化および企業価値向上
- M&Aも活用した海外事業および事業領域の拡大・強化

継続推進事項

- One LOGISTEEDでの連携強化による収益力のさらなる向上
- PMI等の着実な実施によるシナジーの創出

新中期経営計画「LOGISTEED2027」

「LOGISTEED2024」策定時から大きく変容した外部環境と、新中期経営計画において取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を踏まえ、2027年度に向けた中期経営計画「LOGISTEED2027」を新たに策定しました。One LOGISTEEDの推進によりソリューションの高付加価値化と顧客への提供価値向上を進め、再上場とその先のLOGISTEED2030を見据えたさらなる事業基盤の強化を進めます。

めざす姿

ロジスティードグループは、経営理念のもと、高度化、多様化、広範化しているグローバルサプライチェーンにおいて、お客様、株主、従業員などあらゆるステークホルダーから、最も選ばれるソリューションプロバイダとなることを経営ビジョンとして掲げ、さまざまな「協創」を通じた課題の解決と「価値」の創出に取り組み、持続的な成長を実現していきます。新中期経営計画「LOGISTEED2027」では、「LOGISTEED2024」で築き上げたグローバル物流企業としての事業の盤石化とグローバル展開をさらに強化、活用し、再上場とその先のLOGISTEED2030を見据えたさらなる経営基盤および事業基盤の強化を進めます。



環境認識と取り組むべき方向性

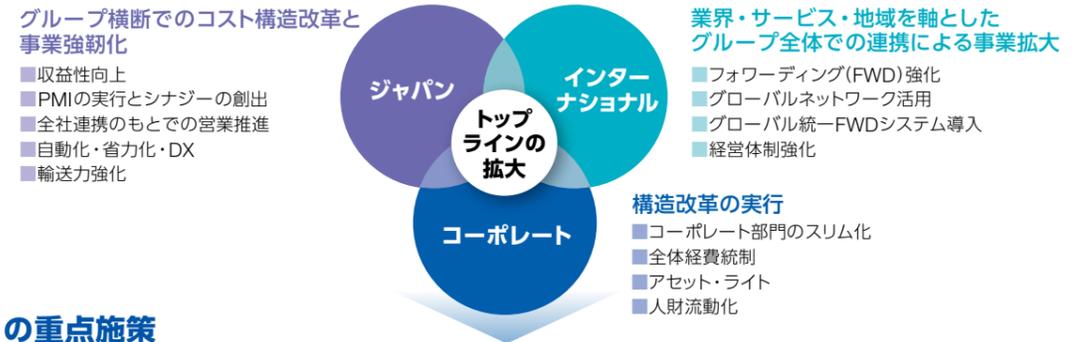
外部環境の変化としては、世界情勢不安、サプライチェーン(SC)の脆弱性リスク、気候変動による影響の顕在化、保護主義の広まりなどを認識しており、取り組むべき方向性を以下の通り定義しています。

外部環境変化		環境認識の深化	取り組むべき方向性	
世界情勢不安・SC脆弱性リスク	気候変動による影響の顕在化		強靱で持続可能な物流サービスの構築・進化 グローバルネットワークの拡充	
保護主義の広まり	労働力不足 少子高齢化		自動化・省力化・DXの推進による 収益性・効率性の向上	
SC再編	デジタル技術革新		顧客基盤の多様化 海外事業の成長加速	
インフレ率の上昇・高止まり	コスト高騰・金利変動		コスト削減・適正化による競争力の維持	
持続可能な社会へ	ESG投資		環境負荷の低減・人財確保・働きやすい環境の整備 ガバナンス・コンプライアンスの強化	

重点施策

めざす姿を実現するために、ジャパンカンパニー・インターナショナルカンパニー・コーポレートがそれぞれ主体的、かつ連携して取り組む戦略の3つの柱のもと、7つの重点施策を推進していきます。

新中計の達成に向けた戦略の3つの柱



7つの重点施策

- 国内3PLにおける圧倒的No.1としてのオーガニック成長の実現**
・ グローバル全社連携のもとでのお客様との関係強化とトップラインの拡大 等
- 自動化・省力化・DXの推進による事業拡大と収益性の向上 (AI活用)**
・ SC DXトータルソリューションによるお客様の意思決定支援とSCの高付加価値化
・ データ基盤の整備を通じたSC全体でのデータ・KPI標準化によるデータ駆動型経営への転換 等
- 一貫したグローバル戦略による強固な海外事業基盤**
・ FWD事業のグローバルネットワーク化
・ FWD・輸送事業の拡大と総合物流への展開 等
- PMI・インオーガニックによる成長基盤の構築**
・ グローバルネットワークや事業領域の拡大とROICの向上に資するM&Aの検討・実行
・ M&A後のガバナンス体制構築と100日プランの策定・実行等を通じたPMIによるシナジーの実現 等
- グローバル物流企業水準のキャッシュ・フロー創出・資本効率の実現**
・ グローバルスタンダードの経営基盤実現を通じたキャッシュ・フローの創出 等
- 業界をリードするESG経営の取り組み**
・ 日本で勝ち、世界で伸ばす組織・人財の強化
・ LOGISTEED WAY・VC活動のさらなる浸透
・ 国際的基準に沿った脱炭素目標への改定と活動の実践 等
- LOGISTEED2030を実現する組織・体制の構築**
・ プロアクティブな組織体制の構築 等

重点施策 1 国内3PLにおける圧倒的No.1としてのオーガニック成長の実現

当社グループは、これまで国内3PLマーケットリーダーとして培ったノウハウや蓄積したデータ等を活用し、さらなる顧客提供価値の向上を推進することで好循環につなげ、圧倒的No.1企業としてオーガニック成長を継続的に実現します。

● グローバル全社連携のもとでのお客様との関係強化とトップラインの拡大

グループ全体でお客様情報を共有、連携し、地域・領域等の制約無く、お客様SCの最適化・高度化に向けた提案を適時かつ組織的に行うことでお客様への提供価値の向上を推進していきます。既に組織的営業力の強化に向けた、お客様ごとのグループ横断での連携体制の構築、情報整理および共有等を開始しています。今後は全社データの分析に基づき、これまで以上にお客様に寄り添ったSC戦略の提案、実現までの伴走を行い、国内3PL圧倒的No.1企業としての地位を確立します。



※1 役員略称については、P49を参照ください
 ※2 JBHQ: Japan Business Headquarters
 ※3 IBHQ: International Business Headquarters

新中期経営計画「LOGISTEED2027」

重点施策 2 自動化・省力化・DXの推進による事業拡大と収益性の向上 (AI活用)

強みの一つである豊富な知見とデータに裏打ちされた技術力を活かし、生成AI等の先進技術を積極的に取り入れたうえで自動化・省力化・DXを推進することにより、一層の事業拡大と収益性の向上につなげていきます。

● SC DXトータルソリューションによるお客様の意思決定支援とSCの高付加価値化

SCMに関する高度な知見とデータ分析により、お客様の意思決定・実行を支援するSCコンサルティングサービスをグローバルに展開します。SC改革の実行に際しては、シミュレーションに基づくオペレーション最適化を推進し、自社開発のRCSを活用した自動化・省力化設備の最適運用もさらに進めます。これらを通じ、お客様のSCの高付加価値化に貢献することで、事業拡大と収益性向上を実現します。

● データ基盤の整備を通じたSC全体でのデータ・KPI標準化によるデータ駆動型経営への転換

営業情報を含むグローバルなオペレーションデータ基盤を構築し、データ駆動型経営と統一KPIによる事業運営への転換を推進します。また、統一システムによる業務の標準化・効率化と、情報の一元化・可視化を通じたガバナンス強化を進めます。

重点施策 3 一貫したグローバル戦略による強固な海外事業基盤

組織改編やグローバルでのシステム標準化等によりOne LOGISTEEDでのネットワークを強化するとともに、業界・サービス・地域を軸としたグループ全体での連携により、お客様への提供価値を拡大し、海外事業の基盤をさらに強固にしていきます。

● フォワーディング事業のグローバルネットワーク化

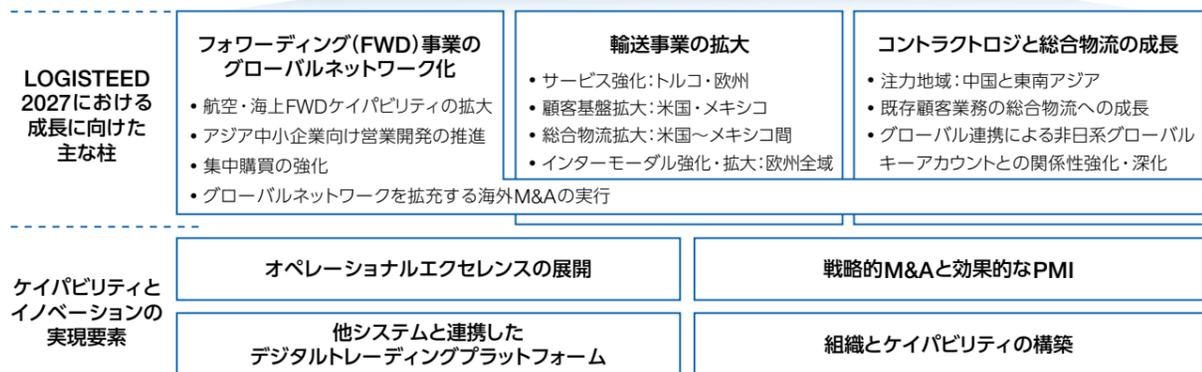
グループ全体の貨物を集約した集中購買による運賃競争力の強化、専門チームによる入札対応力の向上、統一フォワーディングシステムの導入による業務の標準化・効率化等、One LOGISTEEDとして発着地一体となつてのグローバルネットワーク化を進め、お客様の利便性向上を実現します。

● フォワーディング・輸送事業の拡大と総合物流への展開

グループ横断のInternational Leadership Teamを組成し業界動向や顧客情報などを共有するとともに、分科会にてテーマ別の取り組みを進めることで、各国でのより自律的・能動的な対応を促進します。さらに、ノウハウ共有とグループ間連携を強化し、フォワーディング・輸送の拡大に加え包括的なソリューションの提供につなげ、お客様への提供価値向上を図ります。

日本と強く連携したグローバルSCネットワークの構築

業界・サービス・地域を軸とし個社に閉じずグループ全体で連携



重点施策 4 PMI・インオーガニックによる成長基盤の構築

M&Aにてグループ化した企業に関する100日プランの実行によりPMIを着実に完遂しシナジーを創出するとともに、ターゲット市場・領域でのグローバルM&Aも検討・実行し、グローバルネットワークや事業領域の拡大とROICの向上を実現します。

● グローバルネットワークや事業領域の拡大とROICの向上に資するM&Aの検討・実行

成長市場や当社ネットワークを補完する領域に強みを持つターゲット企業を選定の上M&Aを実行し、グローバルネットワークや事業領域の拡大とROICの向上を実現し、当社の企業価値向上につなげていきます。

● M&A後のガバナンス体制構築と100日プランの策定・実行等を通じたPMIによるシナジーの実現

M&A実行後、適切なガバナンス体制を早期に構築するとともに、各領域をカバーする具体的な100日プランの策定・実行によりシナジーの創出、業績拡大を実現していきます。

重点施策 5 グローバル物流企業水準のキャッシュ・フロー (CF) 創出・資本効率の実現

事業・管理・財務、各部門において、策定した業績向上施策の着実な実行により、グローバル物流企業水準のCF創出・資本効率につなげていきます。

● グローバルスタンダードの経営基盤実現を通じたCFの創出

グローバルでの人財の適所適材や調達施策による利益率向上、AIなどの最新技術も活用したDX・自動化・省力化による生産性向上、各種システム開発・導入なども用いた事故やインシデントの撲滅によるロスコスト削減に努め、グローバル物流企業水準のCF創出・資本効率を実現します。

重点施策 6 業界をリードするESG経営の取り組み

組織・人財の強化や人権デュー・ディリジェンスの推進によるリスクの低減・防止、インシデントのAI検知などのテクノロジーによる安全・品質強化の推進、脱炭素活動の推進などにより、再上場とその先のLOGISTEED2030達成の基盤を強化していきます。

- 日本で勝ち、世界で伸ばす組織・人財の強化
- LOGISTEED WAY・VC活動のさらなる浸透
- 国際的基準に沿った脱炭素目標への改定と活動の実践

重点施策 7 LOGISTEED2030を実現する組織・体制の構築

前中期経営計画にて進められた組織・体制刷新の検討・実行による合理化・事業基盤の強化をさらに進展させ組織の最適化を図ることで、LOGISTEED2030を実現する組織・体制を構築し企業価値の向上につなげます。

● プロアクティブな組織体制の構築

国内・海外ともにグループ横断で地域や事業を軸として重複機能の統合・再編を進め最適な組織体制を構築するとともに、構造改革を進め、LOGISTEED2030を実現する組織体制を構築していきます。

また、営業・現場・管理などの全部門にて、自部門における企業価値向上への貢献を追求し、トップライン・ボトムラインの拡大を進めます。この企業価値の向上には、当社のみならず国や社会などへの経済価値伝搬、脱炭素・循環型社会の実現推進などを通じた環境価値の継続的な創出、持続可能な物流サービスの構築による社会価値の向上などが含まれています。全従業員が自らの期待役割を認識し、その期待役割を能動的に遂行していく中で、経済価値、環境価値、社会価値を継続的に拡大し、企業価値向上への貢献につなげていきます。

